

インターネットで「生きるヒント」という文を見つけました。参考になればと思います。

お金は家を買うことができるが、
家族を買うことが出来ない
ベッドを買うことができるが
一眠りを買うことが出来ない
時計を買うことができるが
時間を買うことが出来ない
本を買うことができるが
知識を買うことが出来ない
薬を買うことができるが
健康を買うことが出来ない
血を買うことができるが
生命を買うことが出来ない
欲情を買うことができるが
愛を買うことが出来ない

今年も、皆さんと一緒に平和について考え、祈り求めて行きたいと思います。



あけましておめでとう
ございます

Feliz Año Novo!

¡Feliz Año Nuevo!

Selamat satu tahun!

새해 복 많이 받으세요

Chúc Mừng Năm Mới!

A Happy New Year!

Maligayang Pasko at
Manigong Bagong Taon!

新年あけまして、おめでとうございます。
皆様の上に神様の恵みが注がれますように。
今年もどうぞ、よろしくお祈りいたします。

主任司祭 ファム・ディ・ツツ

1月1日は「神の母 聖マリア」の祝日であり、と同時に「世界平和の日」でもあります。

今年の「世界平和の日」に、教皇ベネディクト十六世は「平和の中心である人間の人格」というメッセージを発表しました。

メッセージの中で教皇は「一人ひとりの人間は、神にかたどって創造されたがゆえに、人格としての尊厳を備えており、その人格の尊重こそ平和を促進する。そしてキリストに招かれた私たちは、平和と善を絶えず神に祈り求め、平和を築いていくように」と、呼びかけておられます。

亡くなられた教皇ヨハネ・パウロ二世も、2000年の大聖年に、「キリスト者は、神が愛ゆえに人との関係に入られたことを知っています。そして、神は愛を人からの応答として待っておられるのです。ですから愛は、人間の間に可能な、最も崇高で、最も気高い形態の関係なのです。愛は人間の生のすべての分野を活性化し、国際秩序にまで広がらなければなりません。「愛の文明」が支配する人類社

会だけが、真の恒久的な平和を享受できるのです。」と述べられました。

しかし、昨年を振り返って見ますと、私たちが住んでいるこの日本をはじめ、世界中のあちらこちらで殺人事件（親が子を、子が親を…）、自殺、戦争、テロなどさまざまな形によってたくさんの命が奪われ、人格がないがしろにされてきました。たいへん心が痛む一年でありました。

毎年、毎年、世界中の人々が、世界平和のために祈っているのですが、争いは一向に止みません。逆に増えている傾向を見せているように思います。

何故でしょうか？

「愛の文明」に生きることは人間にとってそんなに難しいのでしょうか？不可能なのでしょうか？それとも人間がエゴによって拒否しているのでしょうか？

マタイ福音書（マタイ 15.11）の中に、

「口に入るものは人を汚さず、口から出てくるものが人を汚すのである。」

とあるように、私たち人間の中に潜んでいる「私」と言うエゴが、自分を中心に、ものごとを考えているからではないでしょうか。「私」を中心に考え、周りの人々の人格を無視するならば、「金、権力、争い、テロ」などで「平和」を破壊し、人を傷つけるのです。